

平成28年度 コミュニティパーク事業対象箇所の審査内容

- 応募状況 応募自治会は、ロイヤルヒルズ東生駒自治会、真弓1丁目自治会、桜ヶ丘自治会、みなみ野台自治会の4地区から応募があった。

【ロイヤルヒルズ東生駒自治会】

山崎第1公園が応募公園

現状の利用者はごく一部の子供に限られており、公園を地域コミュニティの場として年配層・子育て層・子ども層の「3世代の豊かな交流の場を創設する公園」にしたいと考えており、具体的には唯一の遊具の汽車遊具の抜本的改革、公園周辺の大木化した高木、舗装、大人の憩いの場となる環境の整備を行いたい等の内容である。

【真弓1丁目自治会】

真弓1丁目公園が応募公園

周辺が道路との高低差及び樹木により見通しが悪く、公園内でも南側と北側に高低差があり、閉鎖的になっているため、利用状況が少なく雑草が生え進むため、さらに利用が少なくなるという悪循環となっている。そこで、子どもが楽しめる遊具、大人が憩える東屋等、四季の花が楽しめる樹木、南北をつなぐ遊歩道の整備を行いたい等の内容である。

【桜ヶ丘自治会】

桜ヶ丘公園が応募公園

公園内のサクラが老木化しているため、現状伐採されて切株となっているものもあり、これから先桜ヶ丘公園の町名にそぐわない公園となるのではと危惧している。緑が少なくなっている環境の中、サクラの植樹を含め、木の温もりのあるまちづくりを行いたい等の内容である。

【みなみ野台自治会】

小瀬第2公園が応募公園

現状の公園には砂場、滑り台等があるため、幼児の利用は多いが、南側の広場（旧コミプラ用地）が未整備のままで、利用できない状態である。南側の広場を大人の憩いの場となれるように整備することで、子供から大人まで利用できる公園となり、大きなコミュニティの場としたい等の内容である。

- 条件審査 設置されて10年以上経過している街区公園及び緑道を対象としている。4地区ともその条件は達成しているため、当事業の審査対象とする。

※山崎第1公園：平成3年2月2日 供用開始

真弓1丁目公園：昭和52年2月2日 供用開始

桜ヶ丘公園：昭和57年3月30日 供用開始

小瀬第2公園：昭和63年10月17日 供用開始

- 審査内容 各地区の応募内容等を鑑み、どの趣旨がこの事業にふさわしいかを生駒市緑の市民懇話会において優先する推薦自治会を選定。
生駒市で今年度実施する団体を決定する。

【緑の市民懇話会審査】

【委員意見等】

【ロイヤルヒルズ東生駒自治会】

- ・ロイヤルヒルズ東生駒自治会は、若い方も活動に参加されているのが良いと思う。
参加予定人数が15人とあるが、76世帯全員でワークショップに参加頂いて、絆を深めて頂きたい。

【真弓1丁目自治会】

- ・真弓1丁目自治会は3回目の応募で、ここも高齢化の問題もあるし、早くしてあげないといけないと思う。

【みなみ野台自治会】

- ・前のコミプラ用地を使いたいという話ですが、それは良いのか。
⇒はい。今回それを一緒にすれば、一体的な利用ができると思う。

【共通】

- ・今回の選定も1グループのみか。
⇒はい。今回予定しているのは平成28・29年度のコミュニティパーク事業の対象となる。平成28年度にワークショップ、平成29年度に工事を行う予定である。
- ・真弓1丁目公園で、夏場に草刈をもう1回やりたいとあるが、それ以外のところは市の委託料から出しているのか。
⇒草刈については4団体とも自治会の覚書で委託契約しており、その中で運用して頂いている。
- ・覚書の委託料では足りない場合、自治会が出すこともあるのか。
⇒現実問題、草刈り機など自治会で持っていなかったらシルバー人材センター等の業者をお願いされると思う。市名義の公園なので市が委託料を出す、地域の公園なので、市の委託料を原資に自治会で付け足して業者にお願いしている自治会も多数ある。
- ・ワークショップの参加人数がそれぞれ全く違い、桜ヶ丘自治会は5名、ロイヤルヒルズ東生駒自治会は15名、桜ヶ丘自治会は15名で、自治会と子ども会の役員だけというような気がする。一方で真弓1丁目自治会は70名ということで、皆さんに参加して頂きたいという思いが伝わってくる。それを踏まえても真弓1丁目自治会は3回目の応募なので、コミパの意味を考えて選定して頂きたいと思う。

- ・審査の結果、真弓1丁目自治会をこの会としては推す。

【推薦された真弓1丁目自治会に対する生駒市審査】

① 地域連携について

- ・真弓1丁目自治会では、自治会、老人会、子ども会、未就学児童と保護者の会、真弓1丁目見守り隊、公園ボランティアグループ等様々な団体からWSへの参加が見込まれ、地域での高い連携が見込まれるため問題なし。

② 公園の課題解決について

- ・真弓1丁目自治会では、本事業の応募に際し子ども・家族連れ・お年寄りが憩い遊びにくいという課題を持ち、地域のボランティアグループと「多世代が交流し・遊び・憩う場」をテーマに環境改善の議論を重ねてきており課題解決への意識は高いと感じられるため問題なし。

③ 公園の育成について

- ・真弓1丁目自治会では、既に地域ボランティアグループがあり、本事業に選定されたとしても、同様に地域のボランティアグループによる維持管理が可能と感じられるため問題なし。

【審査結果】

各応募自治会からの応募内容及び生駒市緑の市民懇話会において参加者から出された意見を参考にし、総合的に判断した結果、平成28年度コミュニティパーク事業は、真弓1丁目自治会の「真弓1丁目公園」を事業対象公園とするが、生駒市緑の市民懇話会及び市の要望として、次の意見を付記する。

：意見：

- ・もう1回必要という草刈については自分たちでやってもらいたい。